

取り付け作業(つづき)

オートマチック車の登録(V-10のみ)

マニュアル車への取り付け防止のため、オートマチック車判別機能を搭載しています。
(取り付けたときにオートマチック車の認識を行いますので、マニュアル車にお取り付けできません。)

ステップ 1 本体MODE2スイッチメニューの1「EGSパワースイッチ」をONにします。

注意 登録作業は、ステップ1から終了までを3分以内に行ってください。なおステップ1からステップ3までの作業は30秒以内に完了してください。時間内に作業が完了しなかった場合は、エンジンスタートユニットのブザー音が途中で鳴り止み、作業が中断されます。このときは、本体の「EGSパワースイッチ」を一旦OFFにしてから、もう一度ステップ1からやり直してください。

このときエンジンスタートユニットから「プーッ プーッ…」と音が鳴ります。

メモ ブザー音が鳴らない場合は、アースが確実に接続されているか、または車種別専用ハーネスの品番が間違っていないか、再度確認してください。

ステップ 2 エンジンキーを差し込み、ONの位置にします。

このときエンジンスタートユニットからの音が「ブッ ブッ…」の2連音へと変化します。

メモ このとき誤ってエンジンを始動させないでください。もし始動させた場合は、本体の「EGSパワースイッチ」を一旦OFFにしてから、もう一度ステップ1からやり直してください。

ステップ 3 シフトレバーをPレンジからRレンジへと動かします。

メモ シフトレバーの操作は、ブレーキを踏んでゆっくり行い、音に変化することを確認してください。音に変化しない場合は一度作業を中断し、専用ハーネス付属の「専用ハーネス接続時の注意事項」を確認してください。(追加配線を行う必要があります。)なお追加配線後は、本体の「EGSパワースイッチ」を一旦OFFにしてから、もう一度ステップ1からやり直してください。

エンジンスタートユニットからの音が「ブッ ブッ…」の3連音へと変化します。

ステップ 4 シフトレバーをRレンジからPレンジへと戻します。

このときエンジンスタートユニットから「ブッ ブッ…」と音が鳴り、その後「ブッ ブッ…」の2連音へと変化します。

メモ シフトレバーの操作は、ブレーキを踏んでゆっくり行い、音に変化することを確認してください。

ステップ 5 再度シフトレバーをPレンジからRレンジへと動かします。

エンジンスタートユニットからの音が「ブッ ブッ…」の3連音へと変化します。

メモ シフトレバーの操作は、ブレーキを踏んでゆっくり行い、音に変化することを確認してください。

ステップ 6 シフトレバーをRレンジからPレンジへと戻します。

このときエンジンスタートユニットから「ブッ ブッ…」と音が鳴り、その後「ブッ ブッ…」の間欠音へと変化します。

メモ シフトレバーの操作は、ブレーキを踏んでゆっくり行い、音に変化することを確認してください。

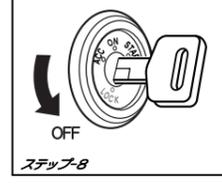
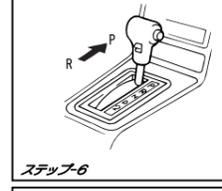
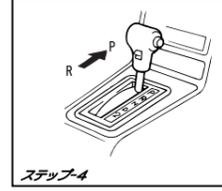
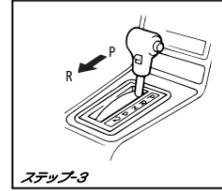
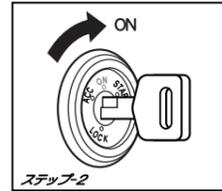
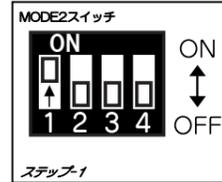
ステップ 7 エンジンキーで、エンジンを始動します。

エンジンスタートユニットから「ブッ ブッ…」と音が鳴り、オートマチック車の登録が終了したことをお知らせします。

ステップ 8 キーをOFFにします。

以上でオートマチック車の登録は、終了です。

メモ 車のバッテリーを外したり、車種別専用ハーネス(アース線)を外すと、オートマチック車の登録情報が消去されます。この場合には、再度オートマチック車の登録を行ってください。



取り付け作業(つづき)

基本動作の確認

動作を確認します。下記手順にしたい行ってください。
動作しない場合は、74~75ページの「故障かな?と思ったら」を確認してください。

警告 動作確認をする際は、必ず車の外に出てから行ってください。また周囲に人がいないことを確認してから行ってください。ショックを与える恐れがあります。

注意 動作確認で車に振動を与える場合、強く叩きすぎてケガをしないように気をつけてください。またガラスやボディー等が、破損しないように充分注意してください。万一破損等が発生しても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

注意 必ずパーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPレンジの位置にしてください。

メモ これからの作業は、配線等が正しく行われているかどうかを確認するためのものです。配線類は固定しない状態で行ってください。

ステップ 1 動作確認前の準備

- パーキングブレーキをしっかり引き、シフトレバーをPレンジにする。
- エンジンキーを携帯し、全てのドア、窓を閉め車の外に出る。(エアコン以外の電装品はOFFにする。)またルームランプが消灯していることを確認する。
- リモコンの(RST)ボタンを長押しし、電源を入れる。

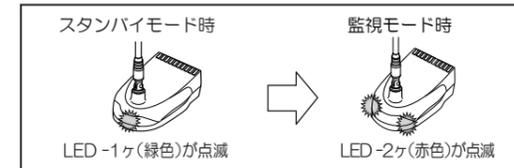
ステップ 2 警報機を動作させます。

リモコンの(SET)ボタンを「ブッ」と音が鳴るまで押し、警報機が動作するか確認してください。このとき車両側が、下記表示を行うことも確認してください。

警戒設定	アンテナユニット	サイレン	ハザード	ドア
警戒ステージ1	LED-1ヶ(緑色)が1回点滅	クック	2回点滅(配線時のみ)	施錠(配線時のみ)

ステップ 3 スタンバイモードから監視モードへ移行することを確認します。

アンテナユニットのLEDが、下記表示に変化することを確認してください。



メモ アンテナユニットのLEDは、30秒間または5秒間のスタンバイモードが終了すると、自動的に監視モードへ移行します。スタンバイモード時間の切り替えについては、14ページの2「スタンバイモードの時間切替」を確認してください。

ステップ 4 振動センサーの動作を確認します。

メモ 一旦センサーを感知すると、その後約5秒間は感知しません。

車のガラスやボディーを叩いて、警報するか確認してください。このとき与えた振動の大小により、車両側とリモコンが、下記表示を行うことも確認してください。

	アンテナユニット	サイレン	ハザード	リモコン
小振動感知時	LED-2ヶ(赤色)が高速点滅(1秒)	1秒 断続吹鳴	2回点滅(配線時のみ)	(Danger) 振動センサー
大振動感知時	LED-2ヶ(赤色)が高速点滅(5秒)	5秒 断続吹鳴	5秒点滅(配線時のみ)	(Danger) 振動センサー

必要に応じて感度を調整してください。詳細は、51ページの「振動センサーの感度調整方法」を確認してください。